

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月4日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 4512 URL <http://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 敬志
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 TEL (03) 3279-0371

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	7,812	△0.6	601	△17.0	875	6.6	401	△21.7
19年3月期第3四半期	7,862	1.2	724	12.6	821	9.1	512	12.6
19年3月期	10,327	1.4	721	7.1	760	2.2	477	6.3

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	11	91	—	—
19年3月期第3四半期	15	49	—	—
19年3月期	14	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	17,165		12,946		75.4		375	48
19年3月期第3四半期	16,419		12,141		73.9		371	19
19年3月期	16,305		11,994		73.6		369	02

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	515	△1,289	677	2,040
19年3月期第3四半期	490	△1,622	△611	1,873
19年3月期	888	△1,753	△613	2,138

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年3月期第3四半期	—	—
20年3月期第3四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,280	△0.5	630	△12.7	920	21.0	430	△9.9	12	47

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(参考) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	7,781	△0.6	580	△17.6	863	6.7	394	△22.1
19年3月期第3四半期	7,830	1.2	703	13.1	809	9.3	505	12.8
19年3月期	10,286	1.4	696	7.0	746	2.0	466	5.7

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	11	69	—	—
19年3月期第3四半期	15	28	—	—
19年3月期	14	16	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	17,065		12,871		75.4		373	33
19年3月期第3四半期	16,329		12,078		74.0		369	26
19年3月期	16,216		11,928		73.6		366	97

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,240	△0.5	600	△13.8	900	20.6	420	△10.0	12	18

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

医療用医薬品事業は、「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」等の眼科領域主力製剤の情報提供活動に加え、昨年7月に上市した「ニブラジロール点眼液0.25%わかもと」の販売拡大に注力いたしました。

薬粧品事業では、主力製品「強力わかもと」の各種広告媒体による販売促進活動に努めてまいりました。

その他の事業では、海外向け乳酸菌と点眼薬および医薬品原料の販売に努めてまいりました。

以上の結果、売上高78億1千2百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は6億1百万円（前年同四半期比17.0%減）、経常利益は8億7千5百万円（前年同四半期比6.6%増）、四半期純利益は4億1百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。

事業別売上高の状況につきましては、医療用医薬品事業は、「リズモンT G点眼液」が伸長し、昨年発売した「ニブラジロール点眼液0.25%わかもと」が売上に寄与したものの、「ゼペリン点眼液0.1%」「オフテクター点眼液0.3%」「キャピリア アデノ アイ」などの売上が減少したため、前年同四半期比9千5百万円の減収となりました。

薬粧品事業は、主力品の「強力わかもと」が減収となり、事業全体としても前年同四半期比1千6百万円の減収となりました。

その他の事業は、海外向けの製品が伸張した結果、前年同四半期比6千1百万円の増収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの第3四半期末の総資産は171億6千5百万円と前年同四半期末に対して7億4千6百万円（4.5%増）の増加となりました。第三者割当による自己株式の処分により現金及び預金が増加し、また、乳酸菌新製造設備を建設中のため建設仮勘定が増加いたしました。

負債の部は42億1千9百万円と前年同四半期末に対して5千8百万円（1.4%減）の減少となりました。退職給付引当金が減少しております。

純資産の部は129億4千6百万円と前年同四半期末に対して8億5百万円（6.6%増）の増加となりました。自己株式（マイナス表記）が減少いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期がほぼ予想通りの業績で推移しており、今後の状況の変化も現時点では見込まれませんので、昨年11月16日の発表の業績予想数値を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産の計上は帳簿棚卸高によっております。

その他影響額が僅少なものとしましては、一部簡便的な方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

（追加情報）

当社は、法人税法改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ22百万円減少しております。

(4) 確定拠出年金制度導入の件

当社は、平成19年10月1日より従来の退職金制度を一部変更し、確定拠出年金制度を導入いたしました。財務の視点からは、退職給付債務の削減、及び拠出金の損金算入効果、人事の視点からは、年金受給年齢の引き上げに対応した60歳代前半の所得確保、及び従業員の自助努力の助長を目的としております。

※制度の概要

- ・60歳未満の厚生年金保険の被保険者(役員を除く)を対象とする。
ただし、導入時点で50歳に達しているものは除外する。
- ・退職一時金と確定拠出年金の給付額合計を、現行退職金制度と同等の水準とする。
- ・将来勤務に係る部分の50%を確定拠出年金へ移行し、過去分についても自己都合退職金の50%を移換する。
- ・拠出率は基本給の4.7%(想定利回り2.0%)とする。

(追加情報)

当社は、平成19年10月1日付けで退職金規定の改定を行い、退職一時金制度の一部を確定拠出年金制度に移行しており、この移行は従来の退職金制度の一部終了を伴います。この制度終了により、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。それに伴い、会計基準変更時差異(155百万円)、数理計算上の差異(19百万円)、退職給付債務との差額(1百万円)を一括償却し、特別損失175百万円を計上しております。

(5) 点眼製造設備新設の件

当社は、昨年12月10日開催の役員会において、点眼剤製造設備新設の基本方針を決定いたしました。

①設備投資の概要

- ・建設設備 点眼剤製造設備 新棟建設
- ・内容 点眼剤製造ライン1系列、立体自動倉庫
- ・建設場所 神奈川県足柄上郡大井町金手378 当社相模大井工場敷地内
- ・投資予定額 約2,800百万円
- ・建設着工予定 平成20年7月
- ・操業開始予定 平成21年11月

②設備投資の目的

当社は、眼科領域で医療ニーズにあった製品の上市ならびに、当社眼科製品の取引拡大を目指しておりますが、当社相模大井工場の既存ラインにおける製造能力では、近い将来に供給力が不足することが見込まれることから、新棟建設により生産能力の増強を図るものです。

③今後の見通し

今回の計画は、相模大井工場敷地内に新規建設のため、既存の工場及び生産活動に及ぼす重要な影響はありません。なお、設備投資額は自己資金及び借入金で賄う予定であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成18年12月31日現在)	当四半期末 (平成19年12月31日現在)	増減	(参考) 前期末 (平成19年3月31日現在)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	1,772	2,436	663	2,036
受取手形及び売掛金	4,908	4,759	△148	4,693
有価証券	1,201	1,204	3	1,201
たな卸資産	1,626	1,547	△79	1,478
繰延税金資産	114	185	70	220
その他	191	84	△107	105
貸倒引当金	△24	△23	1	△23
流動資産合計	9,791	10,194	403	9,711
II 固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物	1,852	1,874	21	1,869
機械装置及び運搬具	811	807	△3	796
土地	337	337	—	337
建設仮勘定	99	266	166	13
その他	139	130	△9	137
有形固定資産合計	3,241	3,415	174	3,153
無形固定資産				
特許権	22	15	△6	20
借地権	67	67	—	67
ソフトウェア	33	77	44	80
その他	5	5	—	5
無形固定資産合計	128	166	37	174
投資その他の資産				
投資有価証券	1,691	1,816	125	1,686
保険積立金	725	690	△34	731
長期性預金	350	350	—	350
繰延税金資産	458	500	42	464
その他	33	32	△1	33
投資その他の資産合計	3,258	3,389	131	3,265
固定資産合計	6,627	6,971	343	6,593
資産合計	16,419	17,165	746	16,305

科目	前年同四半期末 (平成18年12月31日現在)	当四半期末 (平成19年12月31日現在)	増減	(参考) 前期末 (平成19年3月31日現在)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	1,073	1,161	88	981
未払金	219	357	137	151
未払法人税等	159	28	△131	234
未払消費税等	34	31	△2	34
賞与引当金	139	146	6	299
役員賞与引当金	16	20	3	24
返品調整引当金	27	15	△12	25
その他	671	611	△59	614
流動負債合計	2,342	2,372	30	2,365
II 固定負債				
退職給付引当金	1,740	1,397	△342	1,749
役員退職慰労引当金	190	173	△16	190
長期預り金	5	4	△0	4
長期未払金	—	270	270	—
固定負債合計	1,935	1,847	△88	1,944
負債合計	4,277	4,219	△58	4,310
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	3,395	3,395	—	3,395
資本剰余金	2,675	2,675	—	2,675
利益剰余金	6,487	6,647	159	6,451
自己株式	△914	△157	757	△1,022
株主資本合計	11,644	12,561	917	11,500
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価 差額金	496	384	△111	493
純資産合計	12,141	12,946	805	11,994
負債、純資産合計	16,419	17,165	746	16,305

(2) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増減	(参考) 前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 売上高	7,862	7,812	△50	10,327
II 売上原価	2,589	2,712	122	3,529
売上総利益	5,272	5,100	△172	6,798
返品調整引当金戻入額	4	10	6	6
差引売上総利益	5,276	5,110	△166	6,804
III 販売費及び一般管理費	4,552	4,508	△43	6,083
営業利益	724	601	△123	721
IV 営業外収益				
受取利息	3	8	5	5
受取配当金	17	20	3	18
地代及び家賃	23	23	0	31
技術料収入	107	257	150	144
その他	27	33	5	43
計	179	345	165	243
V 営業外費用				
たな卸資産廃棄損	65	46	△19	176
固定資産除却損	5	10	4	6
その他	12	13	1	22
計	82	70	△12	205
経常利益	821	875	54	760
VI 特別利益				
償却債権取立益	6	—	△6	6
VII 特別損失				
退職給付制度一部移行に伴う終了損失	—	175	175	—
税金等調整前四半期(当期)純利益	828	699	△128	766
法人税、住民税及び事業税	331	224	△107	415
法人税等調整額	△16	74	90	△126
四半期(当期)純利益	512	401	△111	477

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成18年3月31日残高 (百万円)	3,395	2,675	6,164	△575	11,660	516	12,177
当四半期中の変動額							
剰余金の配当			△166		△166		△166
利益処分による役員賞与			△23		△23		△23
当四半期純利益			512		512		512
自己株式の取得				△339	△339		△339
株主資本以外の項目の当四半期中 の変動額 (純額)						△19	△19
当四半期中の変動額合計 (百万円)			323	△339	△16	△19	△19
平成18年12月31日残高 (百万円)	3,395	2,675	6,487	△914	11,644	496	12,141

当四半期 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成19年3月31日残高 (百万円)	3,395	2,675	6,451	△1,022	11,500	493	11,994
当四半期中の変動額							
剰余金の配当			△167		△167		△167
当四半期純利益			401		401		401
自己株式の取得				△11	△11		△11
自己株式の処分		△38		876	838		838
自己株式処分差損の振替		38	△38		0		0
株主資本以外の項目の当四半期中 の変動額 (純額)						△108	△108
当四半期中の変動額合計 (百万円)		0	195	865	1,060	△108	951
平成19年12月31日残高 (百万円)	3,395	2,675	6,647	△157	12,561	384	12,946

前期 (平成18年 4 月 1 日～平成19年 3 月31日)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成18年 3 月31日残高 (百万円)	3,395	2,675	6,164	△575	11,660	516	12,177
当期中の変動額							
剰余金の配当			△166		△166		△166
利益処分による役員賞与			△23		△23		△23
当期純利益			477		477		477
自己株式の取得				△447	△447		△477
株主資本以外の項目の当期中の変動額 (純額)						△22	△22
当期中の変動額合計 (百万円)			287	△447	△159	△22	△182
平成19年 3 月31日残高 (百万円)	3,395	2,675	6,451	△1,022	11,500	493	11,994

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(参考) 前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	828	699	766
減価償却費	334	368	466
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	3	—	2
退職給付引当金増減額 (減少: △)	187	△351	196
賞与引当金増減額 (減少: △)	△151	△153	8
役員賞与引当金の増減額 (減少: △)	16	△3	24
受取利息及び受取配当金	△20	△29	△24
有形固定資産除却損	5	10	6
売上債権の増減額 (増加: △)	△523	△66	△308
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△119	△69	29
仕入債務の増減額 (減少: △)	127	127	24
未払消費税等の増減額 (減少: △)	12	△2	13
役員退職慰労引当金の増減額 (減少: △)	—	△16	—
役員賞与の支払額	△23	—	△23
長期未払金の増減額 (減少: △)	—	270	—
その他資産の増減額	10	10	△8
その他負債の増減額	134	122	52
小計	822	915	1,226
利息及び配当金の受取額	20	29	24
法人税等の支払額	△352	△430	△361
営業活動によるキャッシュ・フロー	490	515	888
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△1,100	△1,600	△1,400
定期預金の払戻による収入	—	1,100	300
投資有価証券の取得による支出	△1	△318	△2
投資有価証券の売却による収入	0	5	0
有形固定資産の取得による支出	△469	△516	△541
その他投資等の取得による支出	△50	124	△94
その他投資等の売却による収入	9	△71	46
無形固定資産の取得による支出	△9	△12	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,622	△1,289	△1,753

	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(参考) 前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	△339	△11	△447
自己株取得指定金外信託への支出	△105	—	—
自己株式の売却による収入	—	838	—
配当金の支払額	△166	△149	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△611	677	△613
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額 (減少: △)	△1,742	△97	△1,478
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	3,616	2,138	3,616
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	1,873	2,040	2,138

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

	医療用医薬品事業 (百万円)	化粧品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,251	1,800	810	7,862	—	7,862
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	44	44	(44)	—
計	5,251	1,800	854	7,906	(44)	7,862
営業費用	4,656	1,790	734	7,182	(44)	7,137
営業利益 (又は営業損失: △)	594	9	120	724		724

当四半期 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	医療用医薬品事業 (百万円)	化粧品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,156	1,783	872	7,812	—	7,812
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	48	48	(48)	—
計	5,156	1,783	920	7,860	(48)	7,812
営業費用	4,733	1,769	756	7,259	(48)	7,210
営業利益 (又は営業損失: △)	422	14	164	601		601

(参考) 前期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	医療用医薬品事業 (百万円)	化粧品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,809	2,372	1,146	10,327	—	10,327
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	53	53	(53)	—
計	6,809	2,372	1,199	10,381	(53)	10,327
営業費用	6,179	2,468	1,012	9,660	(53)	9,606
営業利益 (又は営業損失: △)	630	△96	187	721		721